

学校評価(共通項目)評価書

朝霞市立朝霞第一中学校

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	3.2 B 昨年 3.3 B	・情報伝達が疎かで、組織的に機能していない場面がある。伝達の担当を決める、teamsのチャット機能を活用する等、情報を共有する。 ・生徒指導や教育相談部会以外にも、他の分掌、教科会の開催を増やす。	3.7 A 昨年 3.7 A	・コロナ禍にありながら、様々な大会で活躍した報告に、職員のバックアップ、応援がある事に心より感謝します。 ・意欲的に手を挙げていた。 ・教職員の個性も生かす様にしてほしい。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)	3.2 B 昨年 3.1 B	・人が少ない結果、余裕がなく未然に対応するのが難しい状況。 ・案件を共有し、周知することによって問題の早期改善をめざす。 ・学校としての優先順位を統一する。	3.5 A 昨年 3.6 A	・難しい課題も多くある中で、子どもたちに寄り添った指導をされていると思う。 ・慣れた環境とは言え、訓練が安心の気持ちを育てている。 ・不登校の生徒のことが気になる。 ・学校に入るのに簡単に入れる状態であるので、改めて考える必要がある。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	3.1 B 昨年 3.1 B	・放課後に補習の実施が容易にできるようにする。部活優先だと実施しにくい。 ・漢字や単語を繰り返し書かせる指導が必要。 ・基礎学力を身につけるために、家庭学習の習慣を増やす。 ・朝学習の時間をつくる	3.7 A 昨年 3.7 A	・授業風景から大いにも感じる。 ・タブレットの利用が口言葉と同様になると良い。 ・先生方の創意工夫により身に付けていると感じる。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	3.3 B 昨年 3.3 B	・教材研究に充てる時間が足りない。業務内容の見直しが必要。 ・教科会の開催が少ない。お互いの協力体制構築のためには話し合いが必要。 ・規定の教員数を確保し、空きの時間を教材研究に充てることのできるようする。 ・オンライン授業用のタブレットが不足している。	3.8 A 昨年 3.7 A	・日々、授業に接している生徒の評価が高いことが何よりの事と思います。 ・生徒のアンケートの99%を見ると、こちらまで楽しくなってくる。 ・全生徒が前を見て、耳を前にして行っているか。 ・先生方の創意工夫により身に付けていると感じる。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	3.2 B 昨年 3.3 B	・生徒が常に走ったりなどが見受けられるが、見ている教員の人数が足りないように感じる。 ・ルールを守ることによって守られることを知ってもらいたい。 ・生活のルールはもっとわかり易い、シンプルなものになると良い。	3.5 A 昨年 3.7 A	・登下校中の様子から、社会的マナーは身につけていると思う。 ・言葉遣い、態度共に一中生は丁寧であり、頼もしい。アンケートからも理解できる。 ・朝、校門前での挨拶は、全生徒に身に付けさせているか。 ・生徒は生活のルールを守っている様子が見られる。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	3.3 B 昨年 3.4 A	・教師は模範を示めせるように。また、模範となる生徒が増えてもらいたい。	3.5 A 昨年 3.9 A	・コロナ対応で制約がある中、ルールによる工夫で努めている。 ・学校規則、校則に合っているか、子供たちには合っているか、(教職員は)見ているか。 ・上記の件で生徒が常に生活のルールを把握できているか。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	3.5 A 昨年 3.5 A	・今後の部活動のあり方を考えておくことが大切。	4.0 A 昨年 3.9 A	・外での運動に思いっきり、発散している姿は見えて気持ち良い。 ・体育館、自由にやれている。校庭でも自由にしてよいと思っている。 ・活発に楽しんでいると感じる。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	3.4 A 昨年 3.4 A	・毎日少しでも外で身体を動かすことが健康に大変良いと今までの経験から確信している。 ・中学生にとっては大変重要な事項である。	3.8 A 昨年 3.9 A	・活躍の表彰等、成長期の生徒にとって大いなる向上策と感じている。 ・市教委の方で方針として行っていると思うが、向上があると思う。 ・部活動の結果が、そのものではないか思う。(努力している。)
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	3.1 B 昨年 3.1 B	・地域、行政は学校や教員が取り組みを進めていきたいことにもっと協力、支援してもらいたい。 ・コロナ禍ということもあり、昨年よりは保護者と接する機会が増えましたが、足りないと感じる。 ・職場体験が、これにあたる。	3.7 A 昨年 3.6 A	・地域の行事に参加してもらおう等、祭りの時等、大変地域でも感謝している。 ・親、保護者、卒業生との連携があると思う。 ・PTA、地域社会等で教育力を高めている。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	3.1 B 昨年 3.1 B	・保護者・地域の要求に対し、できることとできないことの線引きを明確にする必要がある。 ・コロナ対応が緩和されたあと、協力体制が以前のようなレベルに戻すことのできるのか不安である。 ・自転車の公道での乗り方やルールを守るよう、特に指導を増やしてもらいたい。	3.5 A 昨年 3.6 A	・コロナ以後の学校と地域の関わり方を再構築する必要があると思う。 ・コロナ禍での生活空間のせいか、地域の方も外に出る姿が見られなくなっている。(もう少し時間が必要か。) ・先生方は校内・校外にて指導していると思う。 ・教職員を中心に、地域、保護者と協力しあい推進している。 ・教職員の方々の苦勞に感謝します。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA~Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満